

INTERVIEW WITH YOU

あなたにインタビュー

BrightEyes

瞳を輝かせて

輝

伝統文化を通して地域の力に

南中学校で生け花を指導

宮沢 宗光さん（新屋）

「若 い人に何か一つ「道」とつくものをやってもらいたいですね。言葉では言い表せませんが、きつと心に伝わるものがあると思います。生け花が子どもたちにとって、そんなきっかけになってくれれば」と話すのは、今回紹介する宮沢宗光さんです。昨年1月から毎週木曜日の授業後南中学校で希望した生徒に生け花を教えています。宮沢さんが生徒たちに指導を始めたきっかけは、地域の回覧板に入っていた南中学校のボランティア講師募集の一枚のチラシ。「南中学校は以前息子が通っていましたし、同じ地域に住んでいる子どもたちに、自分の経験を生かして役に立てれば」と協力することを決めました。

現在受講生は、男子生徒4人を含む14人。校舎内の和室で、毎週3人ずつ交代で指導しています。

「最初は、自分なりに生けてもらい、アドバイスを加えて作品をつくります。繰り返しうちに、だんだん良いものができるようになってきました。まずは子どもたちの気持ちを大切に、納得した作品づくりをしてほしいですね」と花にまつわる話などを交えながら、優しく丁寧に教えます。



受講生の作品



▶▶▶プロフィール

みやざわ・そうこう 昭和17年生まれ。茶華道歴45年。書道や俳句などもたしなむ。

成人式を迎えて

たくさん同級生に再会し、改めて自分も大人になったという実感が湧いてきました。今までの自分を振り返ると、少し浮き足立って過ごしてきたところがあります。4月からは就職するので、地に足を着けて、社会人として自覚を持って行動するようになりたいと思います。



平畑 寿子さん (三好上)

成人式で、同級生に会えることを楽しみにしていました。久しぶりに会ってみて、話し方や考え方がすっかりしてきたという印象です。わたしは、まだ学生ですが、法律の勉強をしているので、そういった関係の仕事に就けるように目標をもって頑張っています。



小竹 亮靖さん (三好丘緑)

3日前、母校の中学校から手紙が届きました。それは、わたしが中学生のころ、両親が成人となったわたしへ書いたもの。手紙には、自由でいつも希望を持って歩む人になってほしいという名前の由来に込めた願いが書いてありました。とても感動し、それをしっかりと心に止めていきたいです。



小嶋 由希子さん (三好下)

次回3月1日号のテーマは「三好の好きなところ」
広報情報課が皆さんのところへ突撃インタビューに伺いますので、ご協力ください。また郵便や電子メールによる「声」もお待ちしています。(2月9日(月)締め切り)

みよしの文芸

俳句

加藤 翠苑子
銃眼の定まりたるを鴨知らず 光岡 秋生
賑やかに鴨来て沼の落ちつかず 伊豆原 やゑ
健やかなほかは望まず冬ぬくし 佐藤 博子
池巡り鴨の百態見て飽かず

短歌

鈴木 タカ子
こんなにも宇宙人の如ふわつと手摺 西山 邦子
つたい病棟長き 病む夫を看て替りたし吾が心そつと 深谷 とみ子
しまいて胸ぼんとつく 温かき笑顔がわれを待つ思い形見つ なげし玄関マツト

狂俳

折「ハツタ」 林 星童
万博の槌音春の大愛知 初便り
雅人は一句添えて来る 小出 桃源
バックアップ 加藤 満弥
孫の学資をポンと出す